

奈良県指定文化財調査票

調査日	2020 年	9 月	22 日	記入者	小倉つき子
調査者名	小倉	春日	仲谷	宮本	安川

文化財名	吐山の左巻榎(ひだりまきがや)				
種類	<input type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input checked="" type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ()
指定年月日	1953年(昭和28)3月23日				
所在地	奈良市都祁吐山町1845				
所有者 管理者	個人				
員数	1				
時代区分					
樹木の場合	(樹木名) カヤ			(樹齢) 不明	
案内板の状況	説明板あり。汚れはあるが、文字は十分に読める。				
公開	常時(自由)				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足 ()				
当面の課題	特になし。道路から離れており排気ガスの心配が少ない。畑地に面して日当たり良好。環境に恵まれ、樹勢が良い。木の前に奈良県教育委員会の案内板が設置されており、汚れはあるが、文字は十分に読める状態。貴重な存在の木であることの理由を専門的用語でのみ表現されているため、素人にもわかる内容にしてほしい。				
今後の課題	個人所有だが、邸宅の外に自生しているため、自由に見ることができる。今後もこの状態が保たれることを期待する。個人所有のため、国道から農道に入る箇所に道案内を設置することができないのが残念だ。				
その他 (由緒など)	奈良県教育委員会の案内板によると、カヤは山地に自生する雌雄異株のイチイ科の植物だが、ヒダリマキガヤは変種で、種子の殻の表面に見られるらせん状の線に左巻きが多いことからこの名がついている。国内で天然記念物に指定されているヒダリマキガヤは10件あり、裸子植物の動向を知る貴重な存在とある。				
コメント	根回りは3・22m<平成6(1994)年時点>とあまり太くはないが、地上1mのところから5本に枝分かかれし、全体に左に絡むように巻きながら伸びているため、幹周全体が5~6mほどの木に見える。左巻き榎の種子は彼岸花が咲くころにできるという。調査日はちょうど、彼岸花が満開の時期であり、多くの種子が落ちていた。外皮は緑だが、中の実を出すと、アーモンドを一回り大きくした形状で、香りが良い。この種子は食用にもなるという。左巻きの縦線については、すべてが左に顕著に巻いているわけではない。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2020年	9月	22日	記入者	小倉つき子
調査者名	小倉	春日	仲谷	宮本	安川

文化財名	吐山の左巻榧(ひだりまきがや)
------	-----------------

地上1mのところで枝分かれしている	左巻榧全体の姿(写真中央の木)
-------------------	-----------------



写真中央の溝から左側の私有地に生えている	左巻榧の縦筋が入る種子(左)とその外皮
----------------------	---------------------



奈良県教育委員会の説明板	国道369号からの左折箇所。案内板が欲しい
--------------	-----------------------

